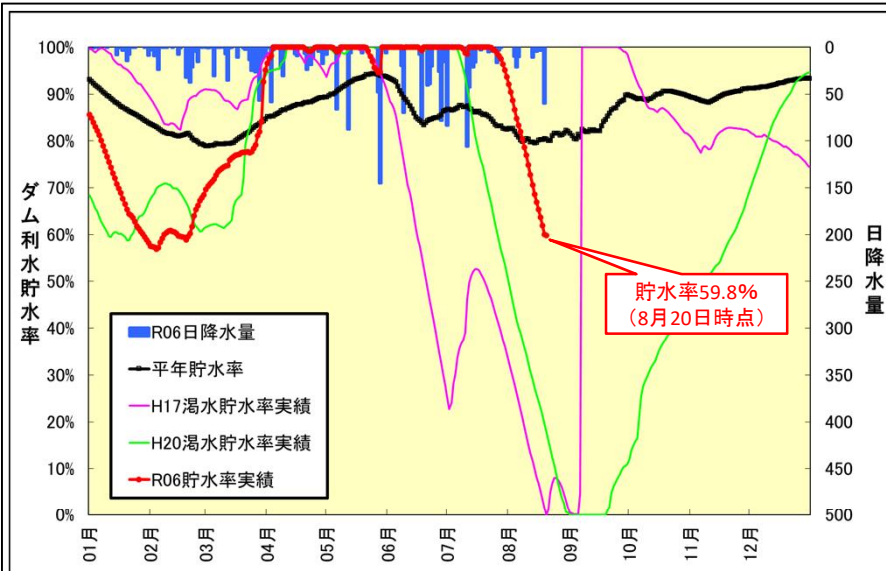




今年度の四国地方は、気象庁の発表によると、平年より4日遅い6月17日頃の梅雨入りとなりましたが、早明浦ダム上流域における6月の降水量は、407mm(平年381mm)と平年よりも多くの降雨があり、貯水率も概ね100%に近い水準で推移しました。

7月に入り、平年より2日遅い7月19日頃に梅雨明けを迎えましたが、早明浦ダム上流域における7月の降水量は、242mm(平年431mm)と平年に比べ56%程度の少雨となりました。その後の8月に入り、引き続き必要な水量に対する明浦ダムからの放流を継続的に実施してまいります。

今後も降雨や貯水量の状況に注視しつつ、台風等に際しては大規模な出水に対処できるよう体制で対応していきます。

## 今夏の早明浦ダムの状況



早明浦ダム  
ホームページ

↑スマホはこちらから

貯水率59.8%  
洪水貯留準備水位  
(328.5m)より約15m低い



### まちかど・水・キャンペーンinこうち

8月6日イオンモール高知において「まちかど・水・キャンペーン」として、高知県・高知市上下水道局・四国電力(株)・(一社)土佐れいほく観光協議会・独立行政法人水資源機構共同で開催しました。

日々の暮らしや経済活動に欠かすことのできない大切な水に関心を寄せていただくとともに、嶺北地域を流れる吉野川の水が高知市内にどのように届けられ、活用されているか啓発を図ることを目的に本イベントを開催しています。

早明浦ダムが所在する嶺北地域の方々の協力に対して、共感と感謝を持っていただくとともに、豊かな自然環境や様々な活動、素晴らしい魅力を紹介すべく、ブースの出展やパネルの展示を行いました。



間伐材コースターイベントの様子

### 川の環境学習会を開催しました(6月)

嶺北地域の小学生、保育園児を対象に、吉野川の自然や生物、そして、早明浦ダムの役割について理解を深めてもらうため、毎年6月頃に「環境学習会」を開催しています。

今年は土佐町小学校、大豊学園、大杉保育所にご参加いただき、簡易水質検査や稚アユの放流体験を行いました。

#### 〈参加児童の声〉

・アユの赤ちゃんが元気に泳いでいてうれしかったです。(土佐町小学校 1年生)

・アユの子供が元気で良かったです。アユがもとの川に戻ってきたらいいと思います。(土佐町小学校 2年生)

・早明浦ダムが自分たちを守ってくれることが知れてうれしかったです。(大豊学園 3年生)

・アユを放流するという貴重なことをさせていただき、ありがとうございました。(大豊学園 4年生)



稚アユ放流

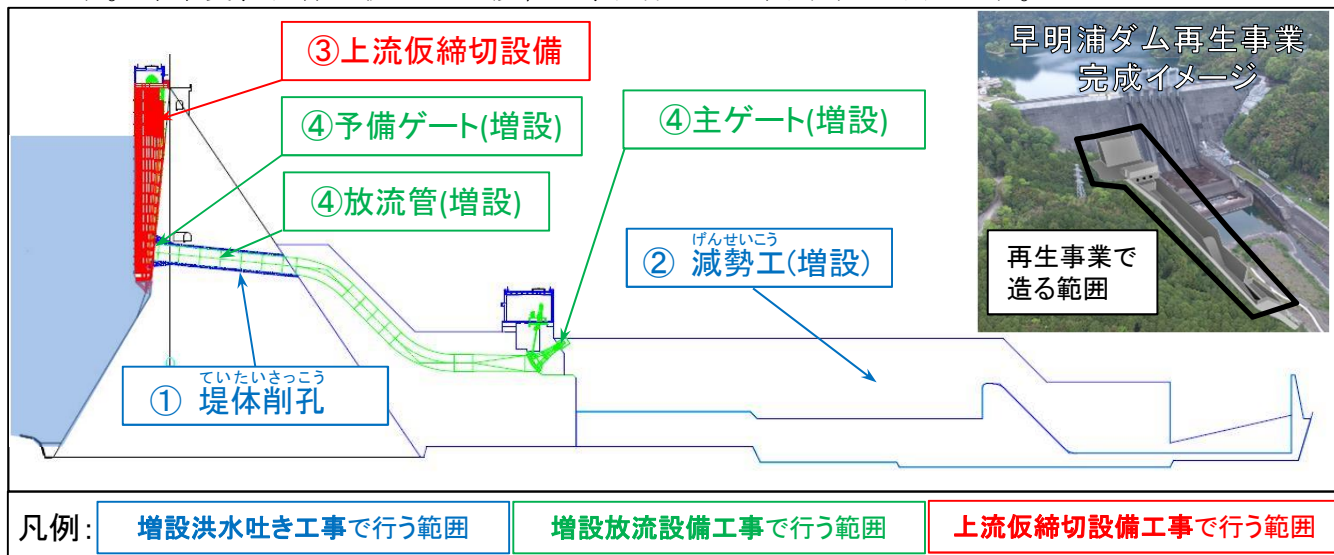


環境学習



## ★ 早明浦ダム再生事業 工事進捗状況報告(1) ★

早明浦ダム再生事業では、①ダムに孔を開ける作業及び②新たに設置した水門（ゲート）から流れた水の勢いを減らす「減勢工」等を造る「増設洪水吐き工事」③貯水池に水を貯めた状態でダムに孔を開ける際、ダムの水が下流に流れ出ないように蓋をする「上流仮締切設備工事」④新たに放流管と水門（ゲート）を設置する「増設放流設備工事」の3つの工事を令和5年4月に契約し、令和6年8月時点で増設洪水吐き工事と上流仮締切設備工事の2工事の現場施工を実施しています。今年度、堤体上流に蓋を設置し、堤体削孔を開始する予定です。



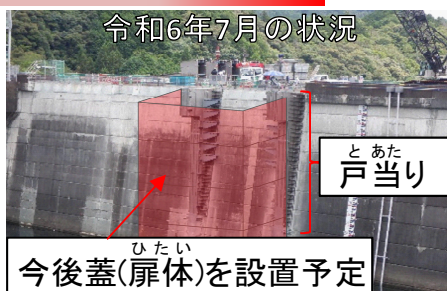
## 【増設洪水吐き工事】

現在、ダムの右岸下流側で新たに放流管とゲートの土台となるコンクリートを打設するため土砂を掘削しています。掘削した土砂は、県道17号を通過してダムの右岸下流にある建設発生土受入地に運搬をしています。土砂を運搬する車には通行証をダッシュボードに掲げ、再生事業の関係車両であることがわかるようにしています。今後、工事で使う材料などの運搬車両において一般道を通行することが増えてきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。



車両についてお気づきの点がございましたら、早明浦ダム再生事業推進室まで連絡ください。

## 【上流仮締切設備工事】



ダムの水が下流に流れ出ないようにする蓋（扉体という）を載せるための台（鋼製台座という）を3箇所分、扉体とダムの間に隙間が出来ないようにする金物（戸当りという）を1箇所分設置しました。また、今は大阪の工場で作った蓋（扉体）を分割してダムまで運び、管理所横の広場で組立を行っています。